



Weekly Report

小諸浅間ロータリークラブ

- ◆例会日/週火曜日 12:30~13:30 ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽
- ◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 3 階
- ◆会長 / 橋詰 希望 ◆副会長 / 前田 博志
- ◆幹事 / 黒澤 明男 ◆ガバ広報・情報委員長 / 新井 粒太



2018~2019 年度
国際ロータリーのテーマ

NO. 1445 平成31年2月5日

◆点鐘	橋詰 希望 会長
◆SAA	矢島 栄一 委員
◆ソング	君が代・誕生日の歌
◆ゲスト	朴敏貞様(米山奨学生)

◆誕生祝

黒田説成会員・前田博志会員・青松英和会員

◆結婚祝

矢島栄一会員 まゆみ夫人
両川博之会員・栄子夫人

◆皆勤祝

矢島栄一会員 11回

【会長挨拶】 橋詰 希望 会長

元米山奨学生で一昨年のも地区大会で講演をしてくれた、中国重慶の李奇菊さんから年賀状をいただきました。通常はメールでやり取りしますが、改めて年賀状をいただくうれしいものです。

今日は中国では旧正月の元旦にあたります。中国の華僑の人たちが数多くいるシンガポールも含め、昨日は大晦日でカウントダウンで盛り上がったことと思います。日本ではお正月は1月1日と決まっておりますが、春節つまり旧正月は旧暦のため毎年日付が変わります。中国のお休みと台湾、韓国のお休みにも若干の違いがあり面白いものです。

この時期に中国の方は日本と同じように故郷に帰ったり、旅行したり大移動をしますので、鉄道は込み合うし、航空機のチケットも高くなります。当然日本にも多くの観光客が中国から訪れますが、特に佐賀県が大変な人気だといわれています。というのは格安航空の春秋航空が九州で唯一就航し、上海からわずか1時間半で来られ佐賀の田園風景や佐賀牛、温泉が喜ばれているといわれています。

米山奨学生のお話に戻りますが、米山の会議に出ますと中には、なんで日本と仲良くやれない中国や韓国の学生を多く支援するのだ、という意見を言う方がいます。確かに

近いということで留学生の数も多いのですが、私たちは国レベルのことはさておき、そのようにいろいろ衝突があるからこそ、優秀な若い人にもっと日本や日本人の心を知ってもらい彼らが母国に戻ったときに、日本と仲良く交流していかなければならないというリーダーシップがとれる人間になってほしいと願っています。日本人も他の国でも一部で差別されるかもしれませんが、そんな意味でも偏見を持たないでこれからも外国の方たちと交流ができるロータリアンになりたいと思います。

【幹事報告】 黒澤 明男 幹事

1. ロータリーの友事務所より 2019~2020 年度版ロータリー
一手帳について

1冊 600円+消費税

2. 伊藤雅基ガバナーより

「会長エレクト研修セミナー」案内

日時 3月16日(土)17日(日)

会場 ホテル中村屋(塩尻市)

3. 例会変更

千曲川RC	2月13日(水)	定刻受付なし
	2月20日(水)	定刻受付なし
上田東RC	2月20日(水)	定刻受付あり
	2月27日(水)	定刻受付なし
	3月20日(水)	定刻受付なし
	4月3日(水)	定刻受付あり
佐久RC	2月14日(木)	定刻受付あり

4. 李奇菊様より年賀状

5. 週報

小諸、南佐久、丸子、上田西、上田六文銭RC

【本日の配布物】

週報 1443・1444号、ガバナー一月信 2月号

◆出席報告 朝倉 俊次 委員

会員数20名	出席義務者20名	免除者0名
本日	出席 15名	
	事前MU 2名	75.00%
前々回(1/22)	MU 0名	65.00%

◆ラッキー賞

NO. 6 掛川興太郎 君

前田 博志君	新藤支店長、よろしくお願いします。
青松 英和君	誕生祝ありがとうございます。
黒田 説成君	誕生祝ありがとうございます。2月26日で80歳となります。よろしく！！
矢島 栄一君	今月は結婚祝・皆勤祝をいただき、ありがとうございます。

掛川興太郎君	ラッキー賞、ありがとうございました。
新藤 修一君	父の葬儀に際し、ご厚情を頂き、誠にありがとうございました。自己小伝もよろしくお願いします。
黒澤 明男君	なんとなくのBOXです。

【本日のプログラム】 『自己小伝』 新藤 修一 会員



平成4年、長野銀行に入行しました。当時の長野銀行は平成元年に「相互銀行」から「普通銀行」になり、上場を目指していたので非常に勢いがあったみんな元気に仕事をしていました。平成9年に東証2部に上場、平成10年に東証1部に上場しています。

また、当時人事部で話をしてくれたのが、今、小諸市議会議員になっている小林一彦さんで、話をしている非常に相談しやすく、説得力がある方だったので、その人柄に惹かれて、

長野銀行にお世話になりました。

今、銀行を取り巻く経営環境は非常に厳しい時代となっています。昔、私が銀行に入ったころは貸出先や運用手段はいくらでもあったので、預金を集めてくるのが仕事でしたが、今は全く逆の状況です。融資量を増やすこと、投資信託や保険を売って手数料収入を得ること、量と収益の確保が一番課題となっています。ただし、昔も今も一緒ですが、数字はうそをつかないので、手を抜けば落ちてくるし、継続して努力していけば必ず結果がついてきます。成績が明確にわかるので、苦しみでもあり、喜びでもあります。

銀行では、9年間の長期経営計画と3年間の中期経営計画が策定されています。また、半年ごとに経営方針が立てられており、経営方針に基づいて各部分針が作られ、計数目標や収益目標などが決められています。

31年3月末までは第10次中間経営計画に沿って進められており、スローガンは「REBIRTH」原点に立ち還り、次のステージに生まれ変わるという意味です。

必要とされ、選ばれる銀行「長野県のマザーバンク」を目標としており、①信頼され、親しまれ、相談に乗れる、存在感のある銀行、②生き生きとした、明るく、働きがいのある銀行、③堅実経営の銀行、④地域とともに歩む銀行を目指しています。

また、半年ごと、支店長方針も作っています。小諸支店の支店長方針は①目の前の仕事・目標に全力で取り組む、②報告・連絡・相談の徹底、③不祥事は絶対起こさない、④自店、自分の実績に関心と危機感を持つ、⑤現金事故・交通事故の防止、⑥笑顔であいさつ、ワンストップ対応、⑦オンとオフの切替です。

AIの活用による融資判断のスピードアップや窓口の機械化などの銀行の合理化策が新聞などで報道されていますが、金太郎飴のように他の銀行と同じで、杓子定規になつては長野銀行の良さや存在意識が無くなってしまうと思っていますので、取引先にとって役に立つ銀行を目指したいと思っています。

最後に、最近感銘した言葉を紹介いたします。パワハラの話からテレビかラジオのコメンテーターが言っていた言葉ですが、「指導者のあるべき姿は、権力を持つのではなく、影響力を持つこと。」という言葉です。支店長という立場は権力を持っていると勘違いしがちですが、押さえつけるやり方ではなく、人を育てる、職員の力を高めるために自分の影響力をうまく使うことが大事であると改めて感じました。

次週のプログラム:2月12日 「化粧回し贈呈式」

次々週のプログラム:2月19日 IM・会員セミナー振替休会